

様式第1 (第3条関係)

(記載例) 特定施設設置(変更)許可申請書

○年 ○月 ○日

高松市長 殿

提出する日付を記入します。

申請人 ○○株式会社 代表取締役○○○○  
 ○○市○○町○○番地○  
 (電話番号 ○○-○○○○番)

瀬戸内海環境保全特別措置法第5条第1項(第8条第1項)の規定により、特定施設の設置(構造等の変更)の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

工場又は事業場の名称	○○株式会社 △△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高松市○○町○○番地○	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	7 1 自動式車両洗浄施設 7 2 し尿処理施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	該当するものにチェックをつけてください。	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。		
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。		
△排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
  - 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 4 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 5 変更申請の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 6 申請書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1	2
特定施設番号及び名称	7 1 自動式車輛洗淨施設	7 2 し尿処理施設
型 式	GD型	合併処理施設
構 造	鋼鉄製	鉄筋コンクリート造
主 要 寸 法	幅 3600 mm 高 2400 mm 奥 2300 mm	縦 17.0 m 横 4.0 m 深 5.0 m
能 力	処理能力 10台/h 所要時間 6分/台	処理能力 195 m <sup>3</sup> /日 650人槽
配 置	別紙のとおり	別紙のとおり
設 置 年 月 日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	許可後
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	着手後1ヶ月
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	完成後
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特 定 施 設 の 使 用 の 方 法

工場又は事業場における施設番号	1 ← 別紙1の施設番号と対応させてください。		2		
特定施設番号及び名称	7 1 自動式車両洗浄施設		7 2 し尿処理施設		
設 置 場 所	別紙のとおり		別紙のとおり		
操 業 の 系 統	車乗入れ → 洗車 → 仕上げ		別添フローシートのとおり		
使 用 時 間 間 隔	随時		連続		
1日当たりの使用時間	1時間		24時間		
使用の季節的変動	なし		なし		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗剤 0.13 L/日 ワックス 0.8 L/日		塩素剤（錠剤）○kg/月		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度 (pH)	6.5	8.0	6.5	8.0
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	20	30	180	200
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	20	30	180	200
	浮遊物質量 (SS) (mg/L)	20	25	230	250
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	20	25	140	150
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	10	15	18	20
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3000以上	3000以上	3000以上	3000以上
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	2	3	60	70	
その他参考となるべき事項	← 当該施設において、製造、使用、処理をしている有害物質があれば、記載してください。				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3-1

施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	3		2			
処理施設の設置場所	別紙のとおり		別紙のとおり			
設置年月日	○年 ○月 ○日		○年 ○月 ○日			
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日		許可後			
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日		着手後1ヶ月			
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日		完成後			
種類及び型式	担体流動生物ろ過方式		○○式			
構造	FPR製		鉄筋コンクリート造			
主要寸法	450 mm×450 mm×1100 mm		17.0 m×4.0 m×5.0 m			
能力	処理能力 10 m <sup>3</sup> /日		処理能力 195 m <sup>3</sup> /日			
処理の方式	生物処理		長時間ばっき方式			
処理の系統	別紙フローシートのとおり		別紙フローシートのとおり			
集水及び導水の方法	排水口及び地下配管		塩ビ管及びンクリート製汚水枘			
使用時間間隔	連続		連続			
1日当たりの使用時間	10時間		24時間			
使用の季節変動	なし		なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	資材名	用途	資材名	用途	資材名	用途
	PAC	凝集	○kg/月	塩素剤(錠剤)		○kg/月
	塩素剤(錠剤)		○kg/月			

別紙3-2

別紙3-1の施設番号と対応させてください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		3				2			
汚水等の汚染状態及び	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水素イオン濃度 (pH)	6.5	6.5	8.0	8.0	6.5	6.5	8.0	8.0
	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	20	15	30	20	180	20	200	25
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	20	15	30	20	180	20	200	25
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	20	15	25	20	230	30	250	35
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	20	10	25	15	140	10	150	15
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	10	5	15	8	18	5	20	8
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3000以上	0	3000以上	0	3000以上	0	3000以上	0
	健康項目及び該当する有害物質に関する汚染状態及び量を記載してください。	2	2	3	3	60	60	70	70
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		種類	生成量 (月間)	処理方法の概要		種類	生成量 (月間)	処理方法の概要	
		汚泥	〇kg/月	〇〇業者に委託		汚泥	〇kg/月	〇〇業者に委託	
排出水の排出方法		排水口の位置	別紙のとおり						
		排水口の数	3						
		排出先	〇〇川						
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水口ごとに番号を付してください。

排水口から排出される水に関する汚染状態及び量を記載してください。

排水の汚染状態及び量

		No. 1 排水口						
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		水素イオン濃度 (pH)	6.5	8.0				
		生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	20	25				
		化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	20	25				
		浮遊物質 (SS) (mg/L)	30	35				
		窒素含有量 (T-N) (mg/L)	10	15				
		りん含有量 (T-P) (mg/L)	5	8				
		大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	0	0				
		排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	62	73				
その他参考となるべき事項		別に雨水専用排水口が2つあり。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">                         その他の必要事項について記載してください。                     </div>						

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

COD

特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>	通常	最大	
	自動車整備業	15	20	2	3				0.03	0.04	
	し尿浄化槽	20	25	60	70				1.2	1.4	
	合計			62	73				1.23	1.44	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

備考 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。  
 2 ※印の欄には記載しないこと。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

T-N

特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>	通常	最大	
	自動車整備業	10	15	2	3				0.02	0.03	
	し尿浄化槽	10	15	60	70				0.6	0.7	
	合計			62	73				0.62	0.73	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

- 備考
- 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、窒素含有量について記載すること。
  - 2 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>no</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 3 ※印の欄には記載しないこと。

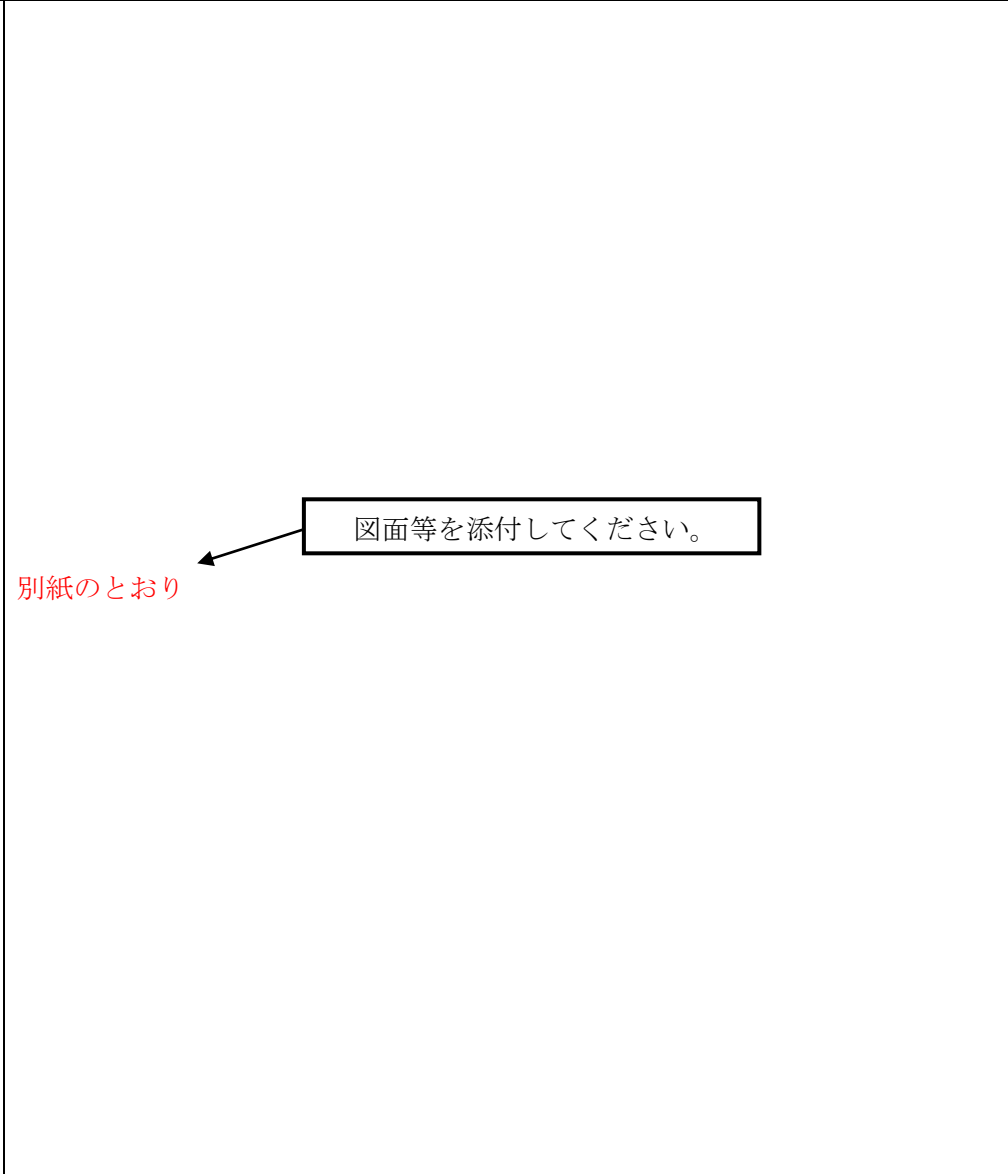
排水水の排水系統別の汚染状態及び量

T-P

特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>	通常	最大	
	自動車整備業	5	8	2	3				0.01	0.01	
	し尿浄化槽	5	8	60	70				0.3	0.35	
	合計			62	73				0.31	0.36	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

- 備考
- 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、りん含有量について記載すること。
  - 2 りん含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>po</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 3 ※印の欄には記載しないこと。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p style="text-align: center;">  </p>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m<sup>3</sup>/日)</p>
	<p>洗淨用水、雑用水</p>	<p>上水道</p>	<p>60～70</p>
	<p>散水</p>	<p>井戸水</p>	<p>2～3</p>

特 定 事 業 場 付 近 の 見 取 図



図面等を添付してください。

## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。